

第2回女性研究者情報交換会を、3月9日、1号館の第1食堂で開催し、20名の参加がありました。学部間の壁を超えて親睦を図りながら、「**女性が働きやすい環境作り**」について意見交換を行ないました。上位職における女性研究者の割合を増加させるためには、働きやすい環境を整え、女性研究者の定着率を増加させることが望まれます。第2回女性研究者情報交換会の後、様々な意見がワークライフ支援室に寄せられましたので、それらの意見を参加者に配信し、共有化を図りました。

【参加者から寄せられた意見（抜粋）】

- 女性が働きやすい環境作りのための情報交換というテーマについて、以下の3点を考えました。
 - ① 子育てを理解出来る方がいらっしゃること、②休んでもそれ以上の結果を出すこと、③生活面・仕事面で短時間で同じ結果を出せるように工夫すること（いわゆる時短です）
- 育児だけでなく介護ができるような環境作りに、協力していきたいと思います。
- 参加したくても事情により叶わない方もおられるかもしれません、そのような時に、MLでの情報交換ができると心強いです。ワークライフ支援室のMLを作ってはどうでしょうか？
- 最小限のルールを設けてMLでの情報交換の環境を整える。
- 親の介護をしなければならなくなつた時、介護制度について事務長に調べてもらった経緯があります。特に女性に負担がかかってくるのが、育児・介護だと思いますので・・・。少しでも働きやすい大学環境になるように願っています。育児・介護も経験した一人として・・・。」